



# CHAPTER 70

## アナンシエータの設定

アナンシエータは、Cisco Media Streaming Application サービスを使用する SCCP デバイスです。これを使用すると、Cisco Unified Communications Manager およびゲートウェイに事前に録音したアナウンス (.wav ファイル) とトーンを Cisco Unified IP Phone で再生できます。アナンシエータは、Cisco Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) と連携して動作し、Cisco Unified Communications Manager はコールが失敗した理由を発信者に知らせることができます。アナンシエータも転送されたコールと会議の一部のトーンを再生できます。

アナンシエータを検索および更新するには、次のトピックを参照してください。

- 「アナンシエータの設定値」 (P.70-1)
- 「アナンシエータの検索」 (P.70-3)
- 「アナンシエータの更新」 (P.70-4)
- 「アナンシエータのリセット」 (P.70-5)
- 「アナンシエータの同期化」 (P.70-6)
- 「関連項目」 (P.70-6)

## アナンシエータの設定値

アナンシエータは、Cisco Media Streaming Application サービスを使用する SCCP デバイスです。これを使用すると、Cisco Unified Communications Manager およびゲートウェイに事前に録音したアナウンス (.wav ファイル) とトーンを Cisco Unified IP Phone で再生できます。アナンシエータは、Cisco Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) と連携して動作し、Cisco Unified Communications Manager はコールが失敗した理由を発信者に知らせることができます。アナンシエータも転送されたコールと会議の一部のトーンを再生できます。

### 始める前に

アナンシエータを設定する予定のサーバで Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスを有効にしたことを確認してください。



### ヒント

Cisco Unified Communications Manager サーバを追加すると、サーバのアナンシエータがデータベースに自動的に追加されます。Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスをアクティブにすると、アナンシエータ デバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録されます。「アナンシエータの検索」 (P.70-3) を使用してアナンシエータが存在するかどうかを確認します。

次の作業が完了していることを確認します。

- 適切なサーバを設定する。
- デバイス プールを設定する。

表 70-1 では、アナンシエータの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、「関連項目」(P.70-6) を参照してください。

表 70-1 アナンシエータの設定値

フィールド	説明
[サーバ(Server)]	設定済みのサーバ（インストール時に追加されたサーバ）が自動的に表示されます。
[名前(Name)]	デバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録される場合、このフィールドには使用される名前を指定します。最大 15 文字の英数字（ピリオド、ダッシュ、およびアンダースコアも使用可能）で名前を入力します。
[説明(Description)]	最大 128 文字の英数字（ピリオド、ダッシュ、およびアンダースコアも使用可能）で説明を入力します。デフォルトでは、サーバ名（プレフィックス ANN_ を含む）が使用されています。
[デバイスプール(Device Pool)]	[デフォルト(Default)] を選択するか、または設定したデバイス プールのドロップダウン リストからデバイス プールを選択します。
[ロケーション(Location)]	<p>ロケーションは、Call Admission Control (CAC; コール アドミッション制御) を中央集中型コール処理システムに実装する際に使用します。CAC では、ロケーション間のリンクを経由する際にオーディオ コールとビデオ コールで使用できる帯域幅を制限することにより、オーディオ品質とビデオの可用性を調整できます。ロケーションは、このロケーションとの間のコールに使用可能な帯域幅の合計を指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスで、このアナンシエータに適切なロケーションを選択します。</p> <p>ロケーションに [Hub_None] を設定すると、そのロケーションの機能では、このアナンシエータが消費する帯域幅を把握しません。ロケーションに [Phantom] を設定すると、H.323 プロトコルまたは SIP を使用するクラスタ間トランクをまたいで CAC を正常に実行できるロケーションが指定されます。</p> <p>新しいロケーションを設定するには、[システム(System)] &gt; [ロケーション(Location)] メニュー オプションの順に選択します。</p> <p>ロケーションの詳細については、「ロケーションの設定」(P.18-1) を参照してください。クラスタ間トランクをまたがるロケーションベースの CAC については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「クラスタ間トランクでのロケーションに基づくコール アドミッション制御」を参照してください。</p>

表 70-1 アナンシエータの設定値 (続き)

フィールド	説明
[信頼できるリレーポイントを使用 (Use Trusted Relay Point)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスで、Cisco Unified Communications Manager がこのメディア エンドポイントに対して Trusted Relay Point (TRP; 信頼できるリレー ポイント) デバイスを挿入するかどうかを選択します。次のいずれかの値を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[オフ (Off)] : この値を選択すると、このデバイスに対して TRP が使用不可になります。</li> <li>[オン (On)] : この値を選択すると、このデバイスに対して TRP が使用可能になります。</li> </ul> <p>信頼できるリレー ポイント (TRP) デバイスには、Trusted Relay Point というラベルの付いた Media Termination Point (MTP; メディアターミネーション ポイント) またはトランスコーダ デバイスが指定されます。</p> <p>エンドポイントに複数のリソース (たとえば、トランスコーダや RSVPAgent) が必要な場合、Cisco Unified Communications Manager は、関連付けられたエンドポイント デバイスに最も近い TRP を配置します。</p> <p>エンドポイントに TRP と MTP の両方が必要な場合、TRP は必須の MTP として使用されます。コール動作の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager での TRP の挿入」を参照してください。</p> <p>エンドポイントに TRP と RSVPAgent の両方が必要な場合、Cisco Unified Communications Manager は、TRP としても使用可能な RSVPAgent を最初に検索します。</p> <p>エンドポイントに TRP とトランスコーダの両方が必要な場合、Cisco Unified Communications Manager は、TRP にも指定されているトランスコーダを最初に検索します。</p> <p>ネットワーク バーチャライゼーションおよび信頼できるリレー ポイントの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「メディア リソースの管理」の章の「信頼済みリレー ポイント」とそのサブトピックを参照してください。</p>

## アナンシエータの検索

アナンシエータを検索する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** [メディアリソース (Media Resources)] > [アナンシエータ (Annunciator)] の順に選択します。  
[アナンシエータの検索と一覧表示 (Find and List Annunciators)] ウィンドウが表示されます。  
特定のアナンシエータをすばやく検索するには、次の作業に従って検索条件を指定します。
- ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「[ステップ 3](#)」に進んでください。  
レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。

**ステップ 4** レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



**(注)** リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.70-6) を参照してください。

## アナンシエータの更新

アナンシエータを更新する手順は、次のとおりです。

#### 始める前に

アナンシエータを更新する前に、次の作業が完了していることを確認します。

- 適切なサーバを設定する。
- デバイス プールを設定する。

#### 手順

**ステップ 1** [メディアリソース (Media Resources)] > [アナンシエータ (Annunciator)] の順に選択します。

[アナンシエータの検索と一覧表示 (Find and List Annunciators)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** アナンシエータを更新するには、該当するアナンシエータを見つけます（「[アナンシエータの検索](#)」(P.70-3) を参照）。



**ヒント** Cisco Unified Communications Manager サーバを追加すると、サーバのアナンシエータがデータベースに自動的に追加されます。Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスをアクティブにすると、アナンシエータ デバイスが Cisco Unified Communications Manager に登録されます。

- ステップ 3** 更新するアナンシエータをクリックし、「[ステップ 4](#)」に進みます。
- ステップ 4** 適切な設定値を入力します（[表 70-1](#) を参照）。
- ステップ 5** [保存(Save)] をクリックします。
- ステップ 6** Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスがアクティブになっていることを確認します。サービスのアクティブ化については、『*Cisco Unified Serviceability Administration Guide*』を参照してください。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」([P.70-6](#)) を参照してください。

## 依存関係レコードへのアクセス

アナンシエータを使用しているデバイスを検索するには、[ [関連リンク \(Related Links\)](#) ] ドロップダウンリストメニューから [ [依存関係レコード \(Dependency Records\)](#) ] を選択し、[ [移動 \(Go\)](#) ] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[ [依存関係レコード要約 \(Dependency Records Summary\)](#) ] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」([P.A-2](#)) を参照してください。

## アナンシエータのリセット

アナンシエータをリセットする手順は、次のとおりです。

#### 手順

- ステップ 1** 「[アナンシエータの検索](#)」([P.70-3](#)) の手順を使用して、アナンシエータを見つけます。
- ステップ 2** リセットするアナンシエータをクリックします。
- ステップ 3** [リセット(Reset)] ボタンをクリックします。
- ステップ 4** [デバイスリセット(Device Reset)] ウィンドウが表示されます。続行するには、[リセット(Reset)] をクリックします。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」([P.70-6](#)) を参照してください。

# アナンシエータの同期化

アナンシエータを最新の設定変更と同期させる手順は、次のとおりです。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます（たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが不要な場合があります）。

## 手順

- 
- ステップ 1** [メディアリソース Media Resources] > [アナンシエータ (Annunciator)] の順に選択します。  
[アナンシエータの検索と一覧表示 (Find and List Annunciators)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。  
検索条件に一致するアナンシエータがウィンドウに表示されます。
- ステップ 4** 同期させるアナンシエータの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内のアナンシエータをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [選択項目への設定の適用 (Apply Config to Selected)] をクリックします。  
[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 6** [OK] をクリックします。
- 

## 追加情報

「[関連項目](#)」(P.70-6) を参照してください。

## 関連項目

- 「アナンシエータの設定値」(P.70-1)
- 「アナンシエータの検索」(P.70-3)
- 「アナンシエータの更新」(P.70-4)
- 「依存関係レコードへのアクセス」(P.70-5)
- 「アナンシエータのリセット」(P.70-5)
- 「アナンシエータの同期化」(P.70-6)
- 「依存関係レコード」(P.A-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[Multilevel Precedence and Preemption](#)」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[アナンシエータ](#)」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[信頼済みリレー ポイント](#)」